

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

愛知県から鏡川流域へ、深い関わりが生まれています

鏡川流域関係人口講座3期生で愛知県在住の石原八重子さんが、鏡川流域に深い関わりを寄せています。約1年前から、講座受講生のイベントに参加するなど、継続的に鏡川流域に関わっている石原さんにインタビューを行い、これまでの関わりをまとめました。

鏡川流域に関わるようになったきっかけ

「ぼっちり広報部」が主催する毎週木曜夜のオンライン交流会に参加し、講座2期生の方々が取り組む「タケノコ食べて放置竹林解決プロジェクト」を知りました。放置竹林問題に対して、「タケノコを食べて解決しよう」というアイデアなら私にもできそうと関心が持てました。さらに、ホテル鑑賞など、次々に生まれる魅力的な企画に参加するうちにすっかりハマってしまいました。



2期生の方々が、アイデアを出すのが得意ではない自分にも意見を聞いてくれて、自分なりに企画に関わることができて嬉しかったです。



講座3期生・藤澤佑介さんとの出会いと関わり

令和6年2月3日に高知市で行われた鏡川流域関係人口講座に参加した際、藤澤さんから、ご自身が取り組む「役に立たない塾」について教えてもらいました。

「役に立たなくても大切なことはあると思う。自分では役に立たないと感じていることでも、きっと誰かの役に立っている」という藤澤さんの言葉に感動し、とても惹かれました。



藤澤さんは「役に立たない塾」を「まちのコイン」「ぼっちり」のスポットに登録し、鏡川流域関係人口の取組に参加しています。

また、2月4日に藤澤さんが日曜市付近で「Feel 度 Walk」を開催している姿を見て、とても楽しそうだと感じました。

主催者の藤澤さんが満面の笑みで取り組んでいたのが、これは絶対に楽しいだろうと感じ、いつか参加したいと思いました。



※「Feel 度 Walk」とは…地域を歩いて気になったものを撮影し、参加者同士でスケッチして共有することで、観察力などの感度(Feel 度)を高める効果が期待されている活動



石原さんは、2月4日、講座2期生を中心に日曜市に出店した「まちのコインらうんじ」にも参加し、講座受講生やお客さんとの交流を深めています。

「Feel度Walk in 鏡地区」に参加



ついに、藤澤さんが令和6年4月29日に高知市鏡地域で開催した「Feel度Walk in 鏡地区」に参加することができました。もう、全部が楽しかったです！自分の身の回りをじっくり見て景色に没頭する楽しさや、日常とは違う視点で写真を撮る楽しさに夢中になりました。

また、撮った写真のスケッチや、それぞれが「素敵だな」と感じたものを他の参加者の方々と共有することで、感情のふれあいのようなものを感じました。



「Feel度Walk in 鏡地区」に参加した際、その前日から高知に来ていたんです。まちのコイン「ぼっちり」のスタンプラリーに挑戦するつもりで、余裕を持って高知入りしました。前日には、「ぼっちり広報部」のオンライン交流会などを通じて交流を深めてきた高知市在住の方が、私を観光地に案内すると提案してくださったのですが、私がスタンプラリーをしたいとお願いして、聞いてもらいました。



石原さんは鏡川に架かる橋や山内神社など、鏡川下流の名所を実際に訪れました。

高知市在住の方が案内してくださったおかげで、土地勘のない私でも、スタンプラリーの対象になっている鏡川に架かる3つの橋を回ることができました。

スタンプラリーの画面に表示されていた橋の画像と同じ構図で写真を撮ることにチャレンジし、とても楽しかったです。特に紅葉橋は、橋を西側から見るか東側から見るかによって、橋の側面の色や雰囲気まったく違って苦戦しました！

高知の有名な観光地を巡るのも良いですが、このスタンプラリーも日常的な高知の良さを感じられて良いと思います。

石原さんの鏡川流域の楽しみ方

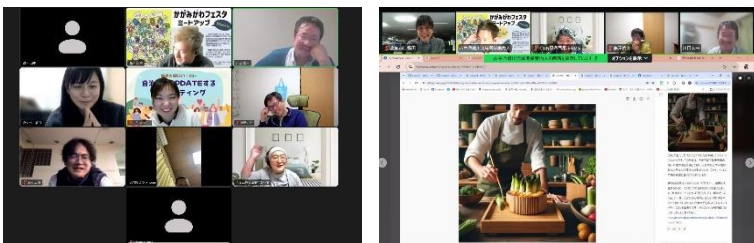


石原さんが挑戦したスタンプラリーのひとつが、紅葉橋・柳原橋・天神大橋の3か所を訪れ、そこで見た景色の感想を体験チケットでコメントすると、アプリ内にスタンプが貯まるという内容。

この1日だけで、いくつものスタンプラリーを達成しました！



石原さんはご自身のInstagramで、スタンプラリーや「Feel度Walk」で訪れた場所などを発信しています！



毎週木曜夜のオンライン交流会にほぼ毎回参加し、鏡川流域関係案内人の皆さんと楽しく意見を交わす石原さん。「次はどうやって関わったらいいですか？何ができますか？」と、ご自身の関わり方を探してくれています。今後も一緒に鏡川流域を盛り上げていきましょう！

No.141 ②



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android